

平成27年度

予算案と

施策



武蔵野市長
むらかみもりまさ
邑上守正

市政運営の基本的考え

平和な未来へ

本年、わが国は戦後70年を迎えます。本市は、昨年11月24日の武蔵野市平和の日に、武蔵野への初空襲より70年目を迎えました。同日開催した平和の集いで戦争の悲惨さと平和の大切さを子どもたちに伝え、また市内外に発信することを誓いました。平和を愛する市民とともに、核も戦争もない平和な未来を、子どもたちにつなげていきます。

経験を教訓にさらなる減災のまちづくり

阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験を教訓に、建物の耐震化など自助の取り組みに加え、共助の取り組みを推進し、日頃からの防災訓練、防災教育など、地域の防災力を高めます。また、東日本大震災からの復興に向けて、被災した岩手県内の自治体への市職員の長期派遣も継続します。

地震対策に加え、大雨、台風、大雪など、自然災害に対する備えを強化し、災害に強い安全なまちづくりを進めます。

循環型都市づくりの推進

雨水を地下浸透させることは、湧水の復活や地下水のかん養となり、また下水道のオーバーフローによる水害の軽減にもつながります。また、四季の変化を伝える緑は、都市に潤いと安らぎを与え、景観を魅了する要素となるばかりか、ヒートアイランド現象の緩和や大気の浄化、延焼防止にも貢献する多くの機能を持っています。水の循環と緑のネットワークを拡充し、環境共生都市づくりを推進します。

地域の皆様のご理解とご協力により、昨年、新武蔵野クリーンセンター(仮称)を着工することができました。平成29年4月の稼働を目指し工事を進めます。

すべての子どもが健やかに

本市の新生児の年間出生数は、全国的な少子化の傾向とは逆行し、増加傾向にあり、大変喜ばしく思っています。一方、保育園待機児童対策は、3カ年で620名分の認可保育所、認可外保育施設を含む保育定員の拡充を図っていますが、保育園入園希望者がそれを上回る状況です。引き続き、保育の質を確保しながら保育園待機児童解消に努めるとともに、地域社会全体の連携を図りながら、子ども自身の育ちと総合的な子育て支援、青少年の成長・自立への支援、学校教育の

充実などを着実に進めます。

一人ひとりを大切にできる福祉

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指して、一人暮らし高齢者に対応したサービスの充実や地域での見守り、支え合いのシステムなどを構築します。また、個々の障がい状況に応じたきめ細かな支援の充実、障がい者への理解を深める心のバリアフリー事業を推進します。

本年4月から施行の生活困窮者自立支援法に基づき、社会資源を活用した伴走型の支援を行い、生活困窮者の早期自立を図ります。また、子どもの貧困にも注視し、現状把握に努めるとともに、学習支援や若者サポート事業などを通して、子どもたちの成長を支えていきます。

武蔵野市にふさわしい

コミュニティづくりと自治の前進

誰もが自由に参加でき、地域で解決すべき課題について話し合う場「地域フォーラム(仮称)」について、各地域の特性に応じて工夫していくことが求められます。行政も支援しながら、各地域での活発な取り組みに期待するとともに、新たなコミュニティ構想について議論を進めたいと考えます。

市民自治の前進に向け、市民との協働によるまちづくりを進めます。

地方創生と魅力あるまちづくり

国は地方の活性化に向けた地方創生

事業を打ち出しています。本市の特性を最大限生かしたまちづくりを進め、他都市と連携し、ときには他都市をリードする魅力ある自治体運営を目指します。

3駅周辺では、特徴あるまちづくりを進めています。吉祥寺駅周辺は、引き続き、南口広場と南口周辺街区の整備、イースト吉祥寺エリアの魅力ある土地利用誘導などに向け検討を進めます。三鷹駅北口周辺では、三鷹駅北口街づくりビジョン(仮称)を作成、共有し、低未利用地の有効活用など新たな土地利用を図ります。武蔵境駅周辺では、北口駅前広場の完成を目指すとともに、JRとともに高架下利用の促進を図ります。

健全な市政運営

市制施行68年を迎え、早期に整備してきた上下水道などの都市インフラや小・中学校などの公共施設の老朽化への対応が課題となつていきます。公共施設等総合管理計画や学校施設整備基本計画(仮称)を定めて、施設規模の再検討や機能統合などによる効率的な再整備を行います。

前年度に引き続き、第五期長期計画の実行計画の見直しを市民、議員、職員の参加で行い、調整計画として策定します。今後も、誰もが安心して暮らし続けられるまちを目指します。

(平成27年度施政方針並びに基本的施策)より要約)

予算の規模とあらまし

一人ひとりを大切に 平和をつなぎ 確かな未来を拓く予算

一般会計予算 **628億7800万円** [前年度比 26億1800万円増]

平成27年度の一般会計の予算規模は、前年度比4.3%、26億1800万円増の628億7800万円となりました。第五期長期計画の各分野に掲げられた施策を着実に推進するとともに、新たな課題にも対応しながら持続可能な市政運営を行っていくため、事務事業および補助金の見直しなどによる経費削減を行い、限られた財源を重点的かつ効率的に配

分することを基本に予算を編成しました。

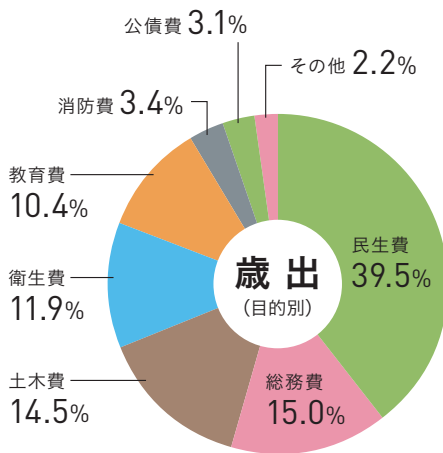
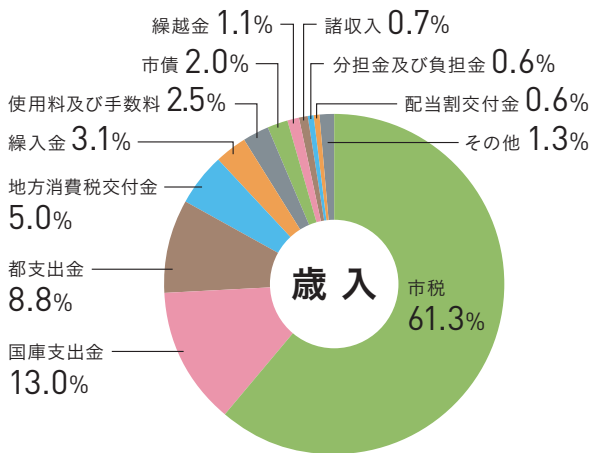
予算とは、4月から翌年3月の会計年度における収支（歳入・歳出）の見積もりで、当該年度に実施する行政サービスの内容や必要な費用を表しています。地方自治法などに基づいて市議会に予算案を提出し、3月の市議会にて審議されます。

一般会計歳入・歳出予算

歳入・歳出の前年度比は以下のとおりです。

〈歳入〉市税は、個人市民税、法人市民税、固定資産税などの増により8億900万円の増となりました。そのほか、地方消費税交付金9億3400万円の増、国庫支出金6億2900万円の増、都支出金3億7600万円の増となりました。

〈歳出〉歳出は、行政目的による目的別分類と、経済的性質による性質別分類の2通りの分類方法があります。目的別では総務費が18億800万円の増となり、全体の40%を占めている民生費は6億3200万円の増となりました。性質別では、物件費が5億5800万円の増、障害者自立支援給付事業や待機児童対策などの扶助費が7億5400万円の増、貸付金が7億7000万円の増となりました。



■ 市税の内訳

	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
個人市民税	162億6100万円	158億2560万円	4億3540万円	2.8%
法人市民税	30億5500万円	28億9380万円	1億6120万円	5.6%
固定資産税	151億1200万円	149億4390万円	1億6810万円	1.1%
都市計画税	24億7180万円	24億1780万円	5400万円	2.2%
その他	16億1720万円	16億2668万円	△948万円	△0.6%
合計	385億1700万円	377億778万円	8億922万円	2.1%

■ 主な目的別分類の説明

民生費	社会福祉、高齢者福祉、児童福祉、生活保護などの経費、保育園や福祉施設の経費など
総務費	企画、財務、徴税、統計、住民票・戸籍などの管理経費、庁舎の維持管理、人件費など
土木費	道路・公園の整備や維持管理、計画的なまちづくりに要する経費など
衛生費	各種検診や予防接種などの保健・医療・健康づくり事業、ごみの収集・処理、公害対策など
教育費	市立小・中学校の管理運営、図書館・武蔵野プレイス・総合体育館などの管理運営など

市民1人当たりの予算額 []は前年度予算

市民の人数
14万2138人
平成27年1月1日現在

1人当たりの予算額
44万2373円
[42万8814円]

高齢者、障害者福祉
などのために

11万3286円
[11万1975円]



子育て支援のために

6万5809円
[6万4196円]



道路、公園整備など
まちづくりに

6万5014円
[6万2741円]



学校教育、図書館や
スポーツ振興に

4万5913円
[4万9563円]



行政運営の
ために

4万1938円
[3万7956円]



ごみ処理、環境保全のために

3万7492円
[3万3714円]



文化、コミュニティ、
国際交流のために

1万9507円
[1万1836円]



市民の健康を
守るために

1万6229円
[1万6246円]



消防、防災対策に

1万5215円
[1万4897円]



市債の償還に

1万3628円
[1万7517円]



市議会運営に

3526円
[3253円]



商業振興や消費者保護の
ために

3457円
[3456円]



その他

1359円
[1464円]



一般会計における基金(市の貯金)の状況

区分	平成27年度末 残高見込	平成26年度末 残高見込
財政調整基金	60億9791万円	60億9533万円
特定目的基金		
公共施設整備基金	112億1956万円	123億2915万円
学校施設整備基金	89億1653万円	91億539万円
吉祥寺まちづくり基金	31億6057万円	32億978万円
公園緑化基金	39億8616万円	42億3154万円
その他	10億7151万円	11億9341万円
合計	344億5224万円	361億6460万円

公共施設や学校などの整備・更新の財源として活用するため、公共施設整備基金や公園緑化基金などを設け、積み立てや取り崩しを行っています。

特別会計を含めた借入金(市の借金)の状況

区分	平成27年度末 残高見込	平成26年度末 残高見込
一般会計	177億3689万円	181億8014万円
下水道事業会計	81億8810万円	79億28万円
土地開発公社	121億2537万円	104億2060万円
合計	380億5036万円	365億102万円

道路や公園、学校など長年にわたり使用する施設の建設費や土地購入費の資金を借入れ、毎年公債費として返済をしています。多額な支出による財政負担を年度間で平準化することと、将来の市民にも公平に費用を負担していただくための仕組みです。

市の予算に関する資料は、市役所市政資料コーナーやホームページなどでご覧いただけます。

一般会計歳出予算の主な性質別構成比率

区分	平成 27年度	平成 26年度	内容
物件費	22.9%	23.0%	物品、光熱水費、委託料、借上料など
扶助費	20.8%	20.4%	福祉、医療給付費など
人件費	15.5%	15.4%	職員給与、議員報酬など
投資的経費	15.4%	15.6%	道路や学校などの公共施設の整備費など
補助費等	10.8%	11.1%	市民や各種団体に対する補助金など
繰出金	9.1%	9.2%	特別会計などに繰り出す負担金
公債費	3.1%	4.1%	借入金の返済など
その他	2.4%	1.2%	維持修繕費、貸付金、積立金など

会計別予算額

会計名	平成27年度	平成26年度	増減率
一般会計	628億7800万円	602億6000万円	4.3%
下水道事業会計	31億4361万円	41億7142万円	△24.6%
国民健康保険事業会計	152億345万円	129億5911万円	17.3%
後期高齢者医療会計	33億7240万円	33億1109万円	1.9%
介護保険事業会計	105億9315万円	105億6559万円	0.3%
合計	951億9061万円	912億6721万円	4.3%

水道事業会計予算額

区分	平成27年度	平成26年度	増減率
収益的収入	37億7202万円	37億9820万円	△0.7%
収益的支出	36億2127万円	36億6011万円	△1.1%
資本的収入	1億869万円	1757万円	518.6%
資本的支出	10億2357万円	9億4727万円	8.1%

子どもたちの健やかな明日のために

保育の充実

2億5129万円

子ども・子育て支援新制度に対応し、安心して子どもを預けられる社会に向けて、保育所待機児童の解消、保育の質の向上、子育て世帯の負担・不安の軽減に取り組む。



- **小規模保育施設の誘致**：平成28年4月の開設に向けて、最大3カ所を誘致する。
- **一時保育の拡充**：子ども協会立北町保育園で新たに一時保育を実施する。
- **保育の質の向上**：新制度において新たに認可化される地域型保育施設（小規模保育、家庭的保育）との連携体制を推進していく。全保育施設におけるヒヤリハット事例などを収集・分析・共有し、リスク管理を強化する。
- **保育コンシェルジュの増員**：一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな入所案内や相談を行い、子育て世帯の不安を和らげる。
- **認可外保育施設入所児童保育助成金の拡充**：認可外保育施設の入所児童に対する補助制度を改定し、所得階層別に上限額を設定したうえで認可保育所の保育料との差額を助成する。
- **病児・病後児保育の拡充**：病氣中または病氣回復期に家庭で療養できない子どもを安心して預けられるよう、プチあんずの移転に伴い受け入れ体制を充実する。

未来を築く次世代のために

子ども文化・スポーツ・体験活動事業

441万円

豊かな心や感性を育み、心身ともに健康な体をつくるため、文化活動やスポーツ・野外活動を拡充する。



若者サポート事業

300万円

課題や悩みを抱えていたり、人との関わりや居場所を求める高校生世代以上の青少年に対して、仲間づくりや自分の進路を見つける手助け、学習支援、日常生活支援を行う。

次代を担う力を育む学校教育

学習活動でのICT機器の積極的な活用・整備

4574万円

児童・生徒の思考力などを育成するために、電子黒板機能付きプロジェクタ、書画カメラなどのICT機器を小学校6校の全校級へ増設する。

新たに中学校2校（モデル校）に無線LAN環境を構築し、教育用タブレットパソコンを導入する。



セカンドスクール20周年事業

595万円

セカンドスクールの実施20周年にあたり、児童・生徒による小中学校合同の交流報告会を行い、ねらいの達成状況や体験活動の再評価などを行う。セカンドスクールを紹介するパンフレットやDVDを作成する。



確かな学力・体力の向上

4235万円

少人数指導・学習支援教室の推進：学習指導員を配置し、少人数指導や習熟度別指導を行うとともに、発展的な学習内容や、学習につまずきのある子どもたちへの支援の充実を図る。

平成27年度

特徴ある事業

●：新規事業 ○：拡充事業

一人ひとりにきめ細やかな福祉サービスを

●生活困窮者自立支援事業

3746万円

生活困窮状態からの自立を目指すため、複合的な課題を持つ生活困窮者に対し、自立相談、住居確保給付金、就労準備などの支援を行うとともに、貧困の連鎖を断ち切ることを目的に、生活困窮家庭の子どもへの学習支援を実施する。

○新たな地域支援事業

（介護保険制度改正への対応）

2億3625万円

介護予防のための訪問介護・通所介護事業の体制を整備するとともに、認知症の早期発見・対応に向けて連携支援や相談を行う「認知症地域支援推進員」、生活支援・介護予防サービス充実に向けて地域資源の開発やネットワーク化を担う「生活支援コーディネーター」を設置する。地域の医療・介護資源の把握や連携パスなど、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するための取り組みを推進する。

●看護と介護の連携強化事業

878万円

医療ニーズのある重度の要介護単身高齢者などでも在宅生活を継続できるよう、訪問看護事業所が利用者の状況を的確に居宅介護支援事業所に情報提供する市独自の連携の仕組みを構築し、市と協定を締結した訪問看護事業所へ補助を行う。

●ケアリンピック武蔵野（仮称）の開催

200万円

介護や看護に従事する人たちが誇りとやりがいを持って働き続けられるよう、ケアリンピック武蔵野（仮称）を開催する。介護職員の表彰、先進的な介護や看護の取り組みの紹介などを行うとともに、市民や就職希望者が「介護、看護の素晴らしさ」を実感できるようなイベントを企画し、現場の活性化を図る。

地域でいきいきと生活を続けるために

●相談支援専門員ガイドライン作成

378万円

相談支援専門員連絡会と協働して、ケアマネジメントなどに関する考え方やサービスなど利用計画作成について分かりやすく解説した、日常業務に活用できるガイドラインを作成する。



○障がいのある子どもへの支援体制の充実

1億6635万円

重症心身障がい児などのショートステイの受け入れ枠を拡大し、家族への支援を充実する。放課後等デイサービス事業者の参入を促進するため、事業所開設に係る費用および家賃を助成する。

健康づくりは予防から

○がん検診等事業

1億4993万円

がんの早期発見・早期治療につなげるため、がん検診を実施する。新たに、胃がんになる可能性を血液検査で判定する胃がんハイリスク検査を実施する。



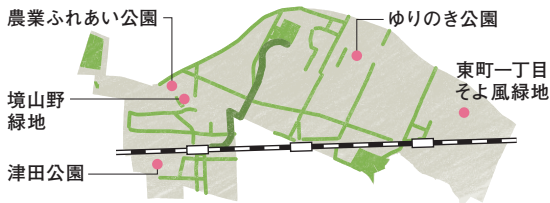
○休日診療の充実

8100万円

急な病気やけがに対応できるよう、休日初期救急医療機関について、これまでの病院の輪番制による実施方法を見直し、市医師会・薬剤師会の協力を得て、新たに診療所2カ所・薬局2カ所を輪番制で開設する。

水と緑を未来へつなぐまちづくり

水と緑のネットワーク事業 9億2224万円



- ① 緑の拠点…整備：境山野緑地、ゆりのき公園、津田公園など。
用地取得：東町一丁目そよ風緑地、農業ふれあい公園
- ② 水辺環境…市内唯一の河川である仙川が自然豊かな水辺空間となるよう、親水ゾーンの概略設計、維持管理を行う。

水の学校事業 272万円

身近な水の循環から上下水道の役割、水に関わるまちの歴史など、さまざまなテーマの講座を催し、水環境の保全などについて市民が考え、自発的な行動につながる支援を行う。

3駅周辺のまちづくりの推進

井の頭線吉祥寺駅ホームドア設置 9000万円

駅利用者の安全性の向上と交通施設のバリアフリー化を促進するため、京王電鉄によるホームドアの整備に対し、国・東京都と協力して事業支援を行う。



三鷹駅北口街づくりビジョン(仮称)の策定 190万円

三鷹駅北口周辺地区の特性を踏まえ、散在する市有地を含む低・未利用地の適切な土地利用、交通体系のあり方など広域的な観点から、今後進めていく街づくりの方向性について検討し、平成27年度、28年度の2カ年で三鷹駅北口街づくりビジョン(仮称)の策定を行う。

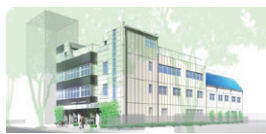
武蔵境駅周辺整備事業 12億6026万円

武蔵境駅北口広場をはじめ、誰もが利用しやすい駅周辺の環境を整備するため、道路整備工事、電線類地中化工事などを実施する。



武蔵境駅北口第二自転車駐車場再整備 1億3800万円

収容台数を約1050台から1600台に拡充し、短時間無料制度や満空情報導入などにより利便性の向上を図る。(平成27年7月開設予定)



効率的で着実な市政運営のために

第五期長期計画・調整計画策定 1071万円

無作為抽出市民ワークショップ、圏域別市民意見交換会などにより多くの市民の意見を伺い、平成28年度から32年度までの5カ年を計画期間とする第五期長期計画の調整計画を策定する。



事務事業見直し・補助金見直し 削減額3億4138万円

事務事業の見直し、職員定数の適正化、補助金の見直しおよび枠配分予算の実施により、3億4138万円の経費削減を行った。

外国語活動の拡充：小学校5・6年生で実施しているALT(外国語活動指導助手)を活用した外国語活動の授業を新たに4年生で実施する。

体育指導の充実：児童の体力づくりや運動習慣の定着を図るために、新たに体育を専門とする学習指導員を活用した体育の授業改善と、小学校教員への授業支援を進める。

武蔵野の歴史を伝え文化を育む

武蔵野ふるさと歴史館の管理と運営 1億2160万円

博物館の活動と、歴史公文書の公開と保存、学校教育との連携や市民スペースの活用などに取り組む。文化財保護普及のセンターとして機能し、指定文化財、埋蔵文化財保護のほか、貴重な資料の保存などに取り組む、文化財収蔵庫を新設する。



市民文化会館改修事業 11億7430万円

昭和59年の開館より30年が経過する中、今後も市民文化創造の拠点として活用できるよう、舞台特殊設備などの更新およびバリアフリーなどの機能向上を図るため、引き続き実施設計を行い、改修工事に着手する。

平和で互いに認め合う社会の実現

中島飛行機武蔵製作所関連資料調査 197万円

戦中に空襲の標的となった中島飛行機武蔵製作所に関する資料を収集するため、アメリカ公文書館(ワシントン)に保存されている関連資料の調査を行う。

男女共同参画基本条例(仮称)の検討 58万円

本市の男女共同参画の理念や目標とする社会など基本的方向性を示す「男女共同参画基本条例(仮称)」制定に向けた検討委員会を設置する。

いのちとくらしを守る 防犯・防火・防災

災害時避難行動支援体制の推進 483万円

災害時の避難行動などに支援を必要とする方に対して、さまざまな組織・人の連携により、安否確認および避難支援を行う仕組みを整備し、必要なシステムの改修を行う。避難行動要支援者を含めた市民への周知を行い、地域全体で支える仕組みづくりを進める。

通学路防犯カメラの設置 1938万円

通学路における児童の安全確保の強化のため、26年度に続き小学校の通学路に8校40台の防犯カメラを設置し、学校、地域などが行う見守り活動を補完する。

新クリーンセンターの稼働に向けて

新武蔵野クリーンセンター(仮称) 21億5715万円 建設事業

平成29年度の稼働に向けて新施設の建設工事を着実に進める。



廃熱エネルギー需給最適化調査検討事業 324万円

省エネ、低炭素化、光熱費節減を図るため、新施設がごみ発電設備とガス・コージェネレーション設備により生み出すエネルギー(電気・蒸気)の需要と供給のバランスを最適化(スマート化)する方策について総合的に調査・検討を行う。

□ 地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実

○ 子育て支援事業 1432万円

□ 青少年の成長・自立への支援

むさしのジャンボリー事業 1729万円

若者サポート事業 300万円

地域子ども館事業 1億3178万円

学童クラブ事業 2億4918万円

児童館運営事業 1464万円

○ 子ども文化・スポーツ・体験活動事業 441万円

□ 子ども・子育て家庭を支援する体制・施設の整備

すくすく施設事業(すくすく泉) 1138万円

□ 次代を担う力をはぐくむ学校教育

● 学校施設整備基本計画(仮称)の策定 784万円

● 教育史統編編さん事業 856万円

○ 体力向上・健康づくりの取組の充実 105万円

少人数指導及び学習支援教室等の推進 3114万円

○ 小学校外国語活動指導助手・理科指導員の配置 2088万円

○ 小学校ICT機器の拡充 2725万円

● 中学校教育用タブレットパソコン導入(無線LAN構築を含む) 1849万円

○ セカンドスクール・プレセカンドスクール 1億4311万円

○ 教育推進室の運営 572万円

○ 特別支援教育の推進 1億4192万円

3 文化・市民生活

□ 地域社会と市民活動の活性化

コミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動 3億6067万円

● 市民活動促進委員会(仮称)の設置 12万円

□ 互いに尊重し認め合う平和な社会の構築

平和啓発事業 516万円

○ 男女共同参画施策事業 515万円

● 中島飛行機武蔵製作所関連資料調査 197万円

□ 市民文化の醸成

市民文化会館改修工事 11億7430万円

○ 観光振興事業 6299万円

○ 武蔵野ふるさと歴史館の管理運営 1億2160万円

□ 市民の多様な学びやスポーツ活動への支援

ひと・まち・情報 創造館武蔵野プレイスの管理運営 5億5049万円

図書館資料収集・保存 1億3466万円

□ 地域の特性を活かした産業の振興

● 武蔵野市農業振興基本計画の改定 176万円

認定農業者経営改善支援補助事業 250万円

市民農園維持管理事業 1269万円

平成27年度

主要な施策

第五期長期計画の分野別と基本施策ごとの事業
(一般会計・特別会計・水道事業会計を含む)

●: 新規事業 ○: 拡充事業

1 健康・福祉

□ 支え合いの気持ちをつむぐ

生活保護世帯援護事業 39億6351万円

□ 誰もが地域で安心して暮らしつづけられる 仕組みづくりの推進

○ 地域リハビリテーション推進事業 522万円

● 生活困窮者自立支援事業 3746万円

高齢者安心コール・なんでも電話相談事業 850万円

認知症高齢者支援事業 1960万円

● 看護と介護の連携強化事業 878万円

○ 障がいのある子どもへの支援体制の充実 1億6635万円

○ 介護保険制度改正に伴う新たな地域支援事業への対応 2億3625万円

● 相談支援専門員ガイドライン作成 378万円

□ 誰もがいつまでも健康な生活を送るための 健康づくりの推進

○ 休日診療の充実 8100万円

予防接種事業 3億6839万円

○ がん検診等事業 1億4993万円

□ 誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり

○ 障がいの外出支援 4390万円

□ 住み慣れた地域での生活を 継続するための基盤整備

介護保険利用者負担額助成事業(5%助成) 3142万円

● ケアリンピック武蔵野(仮称)の開催 200万円

2 子ども・教育

□ 子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援

私立幼稚園等助成事業 4億9775万円

○ 保育の質向上の取組み 483万円

○ 保育コンシェルジュの増員 340万円

○ 認可外保育施設入所児童保育助成金の充実 1億5328万円

○ 病児・病後児保育と一時保育の拡充 2629万円

● 小規模保育施設の誘致(公募型) 6750万円

ひとり親家庭への支援 3109万円

5 都市基盤

□ 地域の特性に合ったまちづくりの推進

景観まちづくりの展開	604万円
景観道路事業	8億8101万円

□ 都市基盤の更新

道路新設改良事業	1億1708万円
----------	----------

□ 利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備

井の頭線吉祥寺駅ホームドア設置	9000万円
武蔵境駅北口第二自転車駐車場再整備	1億3800万円

□ 道路ネットワークの整備

区画道路整備事業	2億7952万円
狭あい道路拡幅整備事業	6491万円
都市計画道路7・6・1号線(御殿山通り)事業	1億660万円

□ 下水道の再整備

区部流入増補管きよ整備事業	1億5000万円
石神井川排水区雨水幹線整備事業	3億5238万円
公共下水道建設事業	5101万円
浸水対策事業	8610万円
女子大通り幹線管きよ更生工事	3億8800万円

□ 住宅施策の総合的な取組み

◎ 分譲マンション再生支援事業	78万円
-----------------	------

□ 三駅周辺まちづくりの推進

◎ 三鷹駅北口街づくりビジョン(仮称)の策定	190万円
吉祥寺地区まちづくり検討調査	254万円
武蔵境駅周辺整備事業	12億6026万円

□ 安全でおいしい水の安定供給

配水管網整備推進事業	4億4479万円
浄水場・水源施設維持更新事業	1億4008万円

6 行・財政

□ 市民に届く情報提供と市民要望に的確に応える仕組みづくり

ホームページシステム更新	423万円
市民と市長のタウンミーティング	103万円

□ 公共施設の再配置・市有財産の有効活用

公共施設改良保全整備・劣化保全整備	5億438万円
-------------------	---------

□ 社会の変化に対応していく行財政運営

第五期長期計画・調整計画策定	1071万円
◎ 社会保障・税番号(マイナンバー)制度対応	1億9244万円

創業支援	162万円
新・元気を出せ商店街事業	5038万円
商店会組織力強化のための企画提案型補助金	600万円
路線商業活性化総合支援事業	760万円
○ 中小規模企業者等への補助の拡大	9437万円

□ 都市・国際交流の推進

海外との交流事業	1878万円
友好都市交流事業	409万円
友好都市アンテナショップ運営事業	464万円

□ 災害への備えの拡充

○ 災害時要援護者対策事業	606万円
○ 民間住宅等耐震化支援事業	5172万円
緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業	8億4608万円
○ 飲料水兼用耐震性貯水槽1基の設置	9653万円
○ 災害時における燃料備蓄の強化と飲料水の確保	2251万円
市立小・中学校4校への災害用トイレの整備	6144万円
◎ 通学路防犯設備整備事業	1938万円

□ 多様な危機への対応の強化

生活安全対策事業(ホワイトイーグル・ブルーキャップ・市民安全パトロール隊・ミッドナイトパトロール)	1億1375万円
消費生活センターの管理運営	1617万円

4 緑・環境

□ 市民の自発的・主体的な行動を促す支援

◎ 環境啓発施設の整備検討	260万円
◎ 第五期緑化・環境市民委員会の設置	200万円
水の学校関連事業	272万円

□ 環境負荷低減施策の推進

環境基本計画の策定	354万円
太陽光発電システム設置事業	4002万円
効率的なエネルギー活用推進助成事業	1621万円
◎ 廃熱エネルギー需給最適化調査検討事業	324万円
LED街路灯事業	1000万円
環境舗装事業	5640万円

□ 「緑」を基軸としたまちづくりの推進

◎ 緑の保全サポート制度(仮称)	150万円
公園等建設事業(千川上水整備事業を除く)	8億7231万円
千川上水整備事業	3156万円
仙川水辺環境整備事業	1837万円

□ 循環型社会システムづくりの推進

小規模事業者に対する分別資源化調査指導	799万円
ごみ組成分析調査	221万円
塵芥処理事業(収集委託料)	11億7939万円
新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業	
および周辺整備事業	21億6101万円